

筆記形式

外国人留学生科目選択型入試 I期・II期

募集定員

I期 10% | II期 10%

入試の
ポイント

・国語・英語、小論文、鉛筆デッサン—手/静物のうちの得意科目で受験可能。
・全国5会場にて実施。

会場

京都、東京、名古屋、岡山、福岡（会場地図はP45）

コース併願
(無料)

4コースまでの併願が可能。さらに、併設校の京都芸術デザイン専門学校と併願が可能。

I期

II期

1

インターネット出願登録

10月22日(火)～29日(火)

※最終日は23:59まで登録可

12月23日(月)～2025年1月4日(土)

※最終日は23:59まで登録可

2

出願書類提出

10月22日(火)～11月1日(金)

※必着

12月23日(月)～2025年1月6日(月)

※必着

3

試験日

11月22日(金)

2025年1月30日(木)

4

一次審査合格発表

12月2日(月)

※10:00にインターネット出願サイトにて合格者受験番号一覧を公表
(インターネット出願サイトへのログインが必要です)

※II期には二次審査合格発表はありません。

5

最終合格発表

2025年1月8日(水) 通知投函

※WEB発表なし

2025年2月7日(金)

※10:00にインターネット出願サイトにて合格者受験番号一覧を公表
(インターネット出願サイトへのログインが必要です)

6

入学手続

2025年1月17日(金) 手続締切

2025年2月19日(水) 手続締切

重要

外国人留学生科目選択型入試Ⅱ期については、出願資格が他の入学試験と異なります。

出願時に「留学」の在留資格があり、在留期間が2025年3月31日までであることが出願の追加条件です。

出願時に更新の手続きをしている方は出願できます。

試験科目

【午前】「国語・英語」「鉛筆デッサン—手」「鉛筆デッサン—静物」 【午後】「小論文」「鉛筆デッサン—手」「鉛筆デッサン—静物」

午前と午後より1科目ずつ最大2科目受験することが可能です。1科目のみの受験も可能です。

午前と午後で同一科目を受験することはできません。

評価のポイント

「鉛筆デッサン—手 / 静物」	観察力・構成力・表現力
「小論文」	読解力・論理的思考力・文章表現力
「国語・英語」	基本的知識・文章読解力などの基礎学力

加えて、各科目共通している高等学校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力と提出書類(志望理由書・各種証明書など)を含め総合的に評価します。

判定方法

科目ごとに合否判定を行います。2科目受験した場合は、成績順位の高い科目で判定します。

2~4コース併願し、複数コースで合格基準に達した場合は、志望順位の高いコースのみ合格となります。

1 インターネット出願登録

手続
インターネット

検定料
35,000円

① コース・試験科目・試験会場を選ぶ

4コースまでの併願が可能。併願する場合は志望順位を決めてください。

② 出願登録

証明写真をデータで用意し、フォームより出願登録をしてください。詳細はP38

③ 検定料の納入

詳細はP39

※コース併願無料/何科目受験しても検定料は変わりません

2 出願書類提出

手続
郵送 または 窓口持参

① 出願書類提出

入学願書をダウンロード・印刷のうえ、郵送または窓口持参にて提出してください。出願に必要な書類はP34-35を確認してください。窓口受付 | 月~土 9:00~17:30 (日・祝休)、年末年始期間の窓口受付は行なっていません。※海外から郵送する場合は日数がかかりますので早めにインターネット出願登録を行い、すぐに書類を提出してください。必着日は変わりませんのでご注意ください。詳細はP40

② 受験票をダウンロード

インターネット出願登録の際に登録されたメールアドレスに受験票発行通知メールをお送りします。各自でダウンロード・印刷し、試験日にお持ちください。試験当日の注意事項が記載されています。また、合格発表まで大切に保管してください。

※試験日3日前になっても受験票発行通知メールが届かない場合は、アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。詳細はP41

3 試験日

選択した会場にて実施。会場地図はP45

4 一次審査合格発表

外国人留学生科目選択型入試Ⅰ期は、試験科目等による一次審査を行います。

一次審査合格者は、日本留学試験「日本語」の成績または日本語能力試験の結果を総合的に判断し最終合否判定を行います。

一次審査結果通知を大学より郵送します。不合格者への通知は送付しません。

なお、外国人留学生科目選択型入試Ⅱ期には一次審査合格発表はありません。日本語の能力を含めた最終合格発表のみ行います。

5 最終合格発表

日本留学試験「日本語」の成績または日本語能力試験の結果等を総合的に判定します。

合格者には合格通知および入学手続要項を郵送します。外国人留学生科目選択型入試Ⅱ期は不合格者への通知は発送しません。

6 入学手続

締切日までに入学手続時納入金を納め、入学手続を済ませてください。詳細はP47

国語・英語

試験内容	国語 現代の国語、言語文化(古文・漢文を除く) 英語 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ 以上の範囲から出題。課題文を読み、関連の設定に 解答(マークシート)。 ※出題にあたっては、新旧教育課程の共通の範囲から 出題を行います。
時間	11:30~13:00(1時間30分)
配点	200点(国語100点/英語100点)
携行品 (使用可能用具)	筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル、 消しゴム、鉛筆削り)
大学準備物	問題用紙、解答用紙(マークシート)

ねらい

[国語] 専門的知識を問う問題ではなく、大学生レベルの学習で必要とされる語彙力と、文章の読解能力を問おうとする。語彙は漢字語や慣用句を問う形を取るが、単なる知識だけではなく、その運用能力を問う問題である。また読解能力を問うため、評論文・論説文・小説などを題材にして一定の長さの文章の内容理解について問題が出題される。

[英語] 長文読解をはじめ、語彙、熟語、構文問題が中心に出題される。長文は芸術、文化、美術、デザインをテーマとした内容が多く、入学後、専門領域で必要となる英語の運用能力が問われる。表やグラフ問題では英語情報を的確に理解する力が求められ、語順や文章の流れを問う問題ではコンテキスト(文脈)を正確に把握する力が求められる。

アドバイス

[国語] 難しい漢字の書き方を練習する必要はないが、漢字の勉強は大切。漢字の問題とは、文脈の中でどの漢字(漢字熟語)を使うか、という「語彙」の問題であることを意識して欲しい。また、読解能力の向上のために、文章中のキーワード・段落の組み立て・表現の流れなどに注意しながら現代文の問題(大学入学共通テストや私大文系向けのものが適切)を解いてみよう。日ごろから興味ある分野の読書に親しむ事も大切である。

[英語] 英語雑誌やインターネット情報の中で芸術、文化、美術、デザイン等、身近で興味深いと思える英文に少しでも多く触れておくことが大切である。中学・高校で学習した英単語、熟語の復習や暗記、苦手な文法項目の強化、またTOEIC等実用的な英語運用能力を高めるための練習問題を解いておくことが、入試に向けても効果的な勉強法である。

小論文

試験内容	与えられた文章について自分の考えを論述する (600~800字)。
時間	14:30~16:00(1時間30分)
配点	200点
携行品 (使用可能用具)	筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル、 消しゴム、鉛筆削り)
大学準備物	問題用紙、解答用紙、下書用紙(A4白紙)1枚

ねらい

以下の4点から評価をする。

- ・理解力(問題文の内容を把握しているか)
- ・表現力(日本語の表現・表記の妥当性、誤字・脱字の有無、文字数の過不足など)
- ・構成力(段落構成が適切であり、論旨が一貫しているか)
- ・内容(設問の解答として説得力があり、かつ主張に独自性・論理性・客観性があるか)

問題文は、芸術・人文・社会・自然などの分野から、評論文・論説文・エッセイなどを題材とする。

アドバイス

小論文試験では、問題文をじっくり読み、内容を理解することが重要である。従って第一に、日頃からさまざまな分野の多種多様な文章を読み、慣れておくことが必要である。第二に、600字から800字で小論文を書く練習が必要である。物語や詩などの創作とは異なり、小論文では問題文に即しつつ、自分独自の考えや主張を論理的かつ客観的に述べなければならない。人に読まれることを想定して書き、身近な人(先生や保護者など)に添削してもらおう機会をもつことも大事である。

鉛筆デッサン— 静物

試験内容	与えられたモチーフを自由に配置し、B3画用紙に鉛筆でデッサンする。
時間	午前 10:00~13:00(3時間) 午後 14:30~17:30(3時間)
配点	200点
携行品 (使用可能用具)	鉛筆、消しゴム(ねり消し含む)、羽ぼうき(製図用ブラシ含む)、カルトン、カルトン用クリップ、鉛筆削り用具、デスクル、はかり棒、擦筆、ティッシュペーパーおよびガーゼ
モチーフ・ 課題の 公表内容	紙コップ(白色3個)と公表モチーフ1種を描く。 ※試験ごとに、紙コップ3個と公表モチーフ1種(P25)が出題されます。※モチーフの詳細や出題に関する質問にはお答えできません。
大学準備物	問題用紙、モチーフ、解答用紙(B3画用紙)、 下描用紙(A3白紙)1枚、下敷用紙(B2ケント紙)1枚

ねらい

デッサンはものの見方を理解し、目と手を連動させ空間を認識する上で大切である。全学科・コース共通のベーシックな課題として、本学では、紙コップ3個と他1種のモチーフに設定し、造形の基礎となるデッサンの試験を実施する。

アドバイス

鉛筆でデッサンすることも、空間表現であることを意識して欲しい。モチーフの置き方と画面への入れ方が、共に空間を感じさせる構成になっているか、画面内のモチーフと机上や光と影の関係に矛盾がないかなどをよく観察しながら、素直に目の前にあるものを描写することを心がけて欲しい。

鉛筆デッサン— 手

試験内容	B3画用紙に手を鉛筆でデッサンする。
時間	午前 10:00~13:00(3時間) 午後 14:30~17:30(3時間)
配点	200点
携行品 (使用可能用具)	鉛筆、消しゴム(ねり消し含む)、羽ぼうき(製図用ブラシ含む)、カルトン、カルトン用クリップ、鉛筆削り用具、デスクル、はかり棒、擦筆、ティッシュペーパーおよびガーゼ
モチーフ・ 課題の 公表内容	自身の手を描く。
大学準備物	問題用紙、解答用紙(B3画用紙)、 下描用紙(A3白紙)1枚、下敷用紙(B2ケント紙)1枚

ねらい

デッサンはものの見方を理解し、目と手を連動させ空間を認識する上で大切である。全学科・コース共通のベーシックな課題として、本学では、自身の手をモチーフとして、造形の基礎となるデッサンの試験を実施する。手の全体感と細部の関係、そして、有機的な動勢や質感を捉え「手らしさ」を観察する力、手がつくる空間を把握し、表現する力をみる。

アドバイス

鉛筆でデッサンすることも、空間表現であることを意識して欲しい。手を画面の中でどのように構成しているか、指の動きや位置関係が不自然でないか、明暗の強弱が単調でないかなどを意識し、素直に観察して丁寧に描写することを心がけて欲しい。

○モチーフ公表の意図について

アドミッション・ポリシー(P53)の通り、科目選択型入試においては、「高校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力が見られるか」を入学選抜の方針と定めている。芸術大学の入学試験が、高校までの基礎的な学習を超えた過度の専門性を問われる特異なものであるのは望ましくなく、全国各地で学ぶ受験生のいずれもが等しく基礎的な学習を行った上で入学試験に臨むことができ、かつその学習継続の成果を評価したいという趣旨でモチーフの公表を行なっている。日々継続的に芸術を学ぶ上での基礎力としての観察力・構成力・表現力を磨いた上で入学試験に臨んで欲しい。



紙コップ(白色3個)

公表モチーフ



ペーパータオル



ニンジン



アボカド



ヘチマたわし



布(ストライプ)



ハンガー



ジャバラ筆洗



メスティン